



今では、今なら、今も…

original edition

For adult only

mechi

もくじ

■ 出会い	3
■ 1 週目	10
■ 2 週目	32
■ 3 週目	42
■ 4 週目	54
■ 日曜日	59
■ その後	74
■ ■ 再会	80



登場人物

ウィル：俳優、アレックの2歳年上、30歳

アレック：俳優、27歳

青春の1ページと聞いて思い浮かべるのは、芝が青く香る思春期の甘酸っぱい光景や馬鹿な悪ふざけ、中高での背伸びした色恋や汗臭いクラブ活動、大学のキャンパスでの酒臭い若気の至り、とかが一般的なんだろう。

僕には、一般的にはだいたい遅い：けれど、誰もが経験できるわけじゃなくて、他のどんな事柄よりも輝いていた、かけがえない青春の1ヶ月があった。

■出会い

ウィルと出会ったのは、僕が27歳の初春だった。

その年の初め、エージェントが「デカい役だ、絶対チャレンジしたほうがいい」と教えてくれたのは、BBC（英国国営放送）制作のドラマ『LOST』のオーディションだった。

たまたま初夏まで舞台や他の仕事がなかった僕は、軽い気持ちでオーディションに行った結果、意外なほどすんなりと、僕にとって初めてとなる「ほぼ主役級」の配役を手に入れることになった。

ドラマ『LOST』は、1980年代のロンドンを舞台に同性愛カップルを描くもので、その片方が僕、そして僕の相手役である主役がウィルだった。

ウィルは僕の2つ歳上で、今をときめく若手実力俳優の筆頭だった。演劇学校を卒業後、舞台を中心に活動しながらTVドラマや映画にも出演していて、最近は去年公開の映画『オスカー・ワイルド』でワイルドの恋人役を演じて話題になっていた。

彼がドラマで初の主役を張ったのは確か24歳くらいで、何を演じるにしても、見事なまでに別人になって観る者を唸らせてしまう。他にも、体の細部に渡る感情表現がどうとか語ればキリがなくて、陳腐な言い方になってしまうけど、技巧的にもいろいろすごい。同世代の役者の中でも際立つ彼は、順当に評価され、